速報：2000年3月31日有珠山噴火

Eruption of Usu Volcano on March 31, 2000

川辺禎久 (地質調査所)

Yoshihisa Kawanabe (Geological Survey of Japan)

2000年4月11日受理.

第1図. 有珠山周辺の主要な地名, 噴火位置, 火口, 断層位置図 (ハザードマップ, 予知連資料をもとに地質調査所北海道支所太田英順氏作成). 赤線は火砕流, 赤破線は火砕サージの到達危険範囲. 緑破線は降灰予想域.

第2図. 噴火地点の北約8kmの洞爺カルデラ縁上(サイロ展望台)から見た噴火. 黒色噴煙を吹き上げる噴火は, 何回かの短時間の静穏期をはさみながら, 15時ごろまで続いた. (3月31日14:04 川辺撮影)

第4図. 西山の火口から噴煙を上げる新火口. 13時7分ごろ有珠山山頂西約2kmの西山の西, 国道230号線の近くで噴火が始まった. 有珠山南西からほぼ北を見て撮影 (3月31日14:03過ぎ撮影. 国際航業提供).

第3図. 噴火前に壮瞥温泉の道路上に現れた右横ずれ断層. このほか有珠山北西側の北屏風山周辺にも断層が確認された. これらの地殻変動に伴う地変は, 3月29日に確認され, 洞爺湖温泉町の地盤が洞爺湖側にせりだすような動きを示した. (3月31日9:30 川辺撮影)

第5図. 噴煙を上げる新火口。噴煙は南西の風に流され、洞爺湖温泉町に大量の降灰をもたらした。有珠山西からほぼ東を見て撮影(3月31日14:05過ぎ撮影。国際航業提供)

第6図. 新火口。西山西斜面に開いた2つの火口が接合した楕円形の火口が見える。火口に近い道路は国道230号線、建物があるのは国道に並行する避難道路。4月11日現在、この地域では10個以上の火口が開口し、地殻変動による断層が発達している。(3月31日14:46撮影。国際航業提供)

第7図. 壮瞥町上久保内での降灰堆積情況。3月31日の噴煙は南西の風に流され、火口から北東方向に降灰をもたらした。降灰城南限に近い上久保内でも道路上に堆積した火山灰が車の走行で舞い上がっている。(4月1日14:03 川辺撮影)

第8図. 洞爺湖湖岸に漂着した本質物。4月2日になって洞爺湖南東岸に漂着しているのが確認された。